



保護者向け学校アンケートの実施

学年	全学年
教科・領域	保護者アンケート
ICT機器やアプリ名等	・(保護者)家庭にある端末(スマートフォン等) ・(学校)校務用パソコン ・Microsoft Teams

ICT活用のポイント

- ・保護者への通知は、QRコードを記載した手紙とURLを記載した一斉メールの両方で行い、保護者がアクセスしやすいようにした。
- ・回答は「1人1回」に設定することで、公平な意見の収集に努めた。

○デジタル化によるペーパーレスのメリットを最大限に活かそう

- ・紙での集約から、デジタルでの集約に変えることで、保護者にも学校にもメリットがあった。

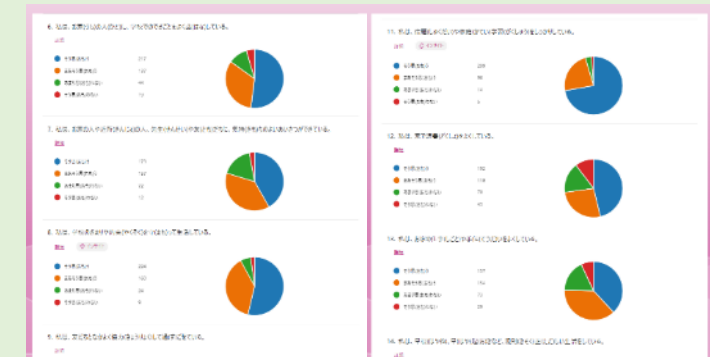
保護者:いつでもどこでも回答することができ、アンケートの回答へのハードルを下げることができる。

学 校:紙での回答を打ち込んで集約する必要がなくなり、業務改善につながる。

- ・意見の公平性を期するために、「1人1回」回答としたことで、1家庭につき1回しか回答できず、兄弟のいる家庭から、兄弟ごとの回答をどのように収集するかが、今後の課題である。



保護者への依頼文(左:紙 右:メール)



集計画面



④学習外でのICT活用

令和5年度ICT利活用推進事業
高砂市立荒井中学校

家庭学習等でのCBTを利用した基礎学力の定着と基本的な操作のスキルの習得

学年	全学年
教科・領域	国語、数学、英語
ICT機器やアプリ名等	- GoogleChrome (株)スプリックス TOFAS※

ICT活用のポイント

- 今後増加する各種CBTに対して、気軽に試用できる環境を整備することで、CBTの基本操作を身につけることができる。
- 管理画面で集計作業も簡単に行うことができる。また、デジタル採点と分析により、学校、学年、学級の基礎学力をグラフにて把握できる。

○令和の時代には不可欠な能力として、CBT (Computer Based Testing) への対応力の向上

- 令和5年2月から試験運用し、4月から、定期的に全校生への受検を勧めている。
- 保護者に対しても、家庭でのタブレット学習に活用してもらうよう依頼した。
- 自分の学力を客観的に知る機会となる他、タブレット持ち帰り時の適切な利用方法として定着することができた。
- 今後は、TOFASによる基礎学力を全国学力・学習状況調査などに生かす予定である。

※TOFAS…基礎学力を測定・評価する国際検定。「漢字・語彙(ごい)」「計算」「英単語」の3領域に関して、学年の習熟度別に問題が設定されている。



TOFAS実施中



成績結果 (学級集計)



④学習外でのICT活用

令和5年度ICT利活用推進事業
たつの市立龍野東中学校

連絡アプリによる保護者への学級通信の一斉配信

学年	全学年
教科・領域	学級経営
ICT機器や アプリ名等	・スクリレ (メール一括送信アプリ)

ICT活用のポイント

- ・本人と特定できる写真は、必ず本人の許可を取る。そして、写真の下部に転載等に関する注意事項の文言を入れて注意喚起を行う。
- ・スマートフォンの画面で見ることを前提に作成するため、文章を多く載せるよりも写真やレイアウトにこだわり、読みやすさを大切にする。そうすることで、紙の通信に比べ、作業時間が大幅に短縮することができる。
- ・公衆送信(著作権等)に関わる認識を、教師間で共有し、権利を侵害しないように留意する。

○学校の一斉メール送信用アプリを用いて、学級通信を配信する

- ・行事だけでなく、些細な生活の一面なども通信として配信することで、紙面での学級通信※よりも一層学校生活を保護者に伝えることができる。

※Web等から引用したイラスト等を使用する場合は、著作者に許可を得る必要がある。

- ・オンラインで配信することにより、プリンターのインク代や紙代などの消耗品が節約できる。写真もカラーでより鮮明なものを保護者に提供することができる。
- ・全校生の保護者への連絡手段であるため、確実にクラスの全保護者に配信することができる。
- ・端末があれば「いつでも」「どこでも」閲覧することができる。



配信内容

「スクリレアプリ」による学校と保護者間の連絡をデジタル化

学年	教職員
教科・領域	その他
ICT機器や アプリ名等	・校務用PC(Windows) ・スクリレ

○アプリを使った保護者との連絡事項のデジタル化

背景 学校評価アンケートに寄せられる意見に、「子どもが学校からの配布物を見せない」というものがあった。

ICT活用のポイント

- ・令和5年2月から試行し、4月から本格導入した。
- ・様々な配布物をPDFファイルに変換することができれば、簡単な操作で保護者に配信できる。メール配信では行えなかった既読か未読かの確認ができる。
- ・個別配信や出欠確認、アンケート機能も使える。

- ・PATメール配信のシステムは稼働していたが、PDFファイルを配信したり、細かな配信グループの登録が困難であるなど、既存のしくみでは対応が難しかった。
- ・アプリの導入により、保護者のメールアドレス等の個人情報や学校側が扱うことがなくなった。
- ・学級や部活動ごとのQRコードを発行することで、簡単に配信準備を整えることができるなど、業務改善に繋がった。



スクリレ配信画面(管理画面)



保護者側の画面

GoogleFormsを活用した「学校評価アンケート」の実施

学年	全学年
教科・領域	全教科
ICT機器やアプリ名等	・端末 ・GoogleChrome ・GoogleForms ・Googleスプレッドシート ・Microsoft Excel

ICT活用のポイント

- ・学校評価アンケートの配布、回収、結果分析、好評という一連の校務は、校長・教頭や教務主任にとって大きな負担となっていた。この校務をDX化することで、校務の大幅な軽減と、アンケート本来の目的である、改善策の検討に十分な時間をかけることができるようになった。

○例年実施する学校評価アンケートをオンライン化。

- ・対象者に、アンケートにアクセスするためのQRコードを配布。
- ・場所や時間に制限されず、回答者のタイミングで回答できるようにすることで、従来のアナログ的集計作業からの決別。
- ・連携するスプレッドシートのデータを集計用エクセルシートに貼付することで、瞬時にグラフ化され、即座に回答状況を把握することができる。
- ・膨大な用紙への印刷と配布、回収作業が省略され、省資源、小コストを含めた働き方改革につながっている。

エクセルシートに
集約された結果グラフ

令和 5 年度荒井中学校学校評価アンケート（3年保護者用）

このアンケートは、荒井中学校の取組について、毎年この時期に行っているもので、より良い荒井中学校にするためのものです。1～37の質問にお答えください。ご協力をお願いいたします。

hashimoto.naoto@g.takasago.ed.jp アカウントを切り替える

共有なし

* 必須の質問です

お子様の学年は何年生ですか。
※兄弟姉妹がいる場合は、お手数ですがそれぞれの学年のフォームに回答をお願いいたします。

- ☐ 1年
- ☐ 2年
- ☐ 3年

次の質問1～37まで5，4，2，1で答えてください。

5	している・あてはまる・そう思う
4	どちらかといえば、している・あてはまる・そう思う
2	どちらかといえば、していない・あてはまらない・そう思わない
1	していない・あてはまらない・そう思わない

GoogleFormsによる回答画面

令和5年度荒井中学校学校評価（2年保護者）

